

各 位

公益社団法人 農業農村工学会技術者継続教育機構

## 平成 27 年度「CPD 取得一覧表」の送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 28 年 8 月 1 日時点で貴殿が取得されています、平成 27 年度の「CPD 取得一覧表」(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)を平成 28 年 8 月 1 日付けでご送付申し上げましたので、ご査収くださいますようお願い申し上げます。

なお、平成 27 年度の研鑽記録は平成 28 年 8 月 31 日(水)まで Web 画面から受け付けています。9 月以降は受付できませんので、申請漏れのある方は必ず期日までにお手続きをお願いいたします。

注) ①同封した「CPD 取得結果一覧表」は、平成 27 年 4 月から平成 28 年 5 月までの期間に「自己申請」および「自動登録」により取得した平成 27 年度分の CPD 取得結果です。

②平成 28 年 6 月に申請された記録は平成 28 年 9 月に、7 月に申請された記録は 10 月に、8 月に自己申請される記録は 11 月に、Web 画面上で審査結果を確認することができます。

	平成27年												平成28年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平成27年度記録審査結果の Web 公表月			4月申請分		5月申請分	6月申請分	7月申請分	8月申請分	9月申請分	10月申請分	11月申請分	12月申請分	1月申請分	2月申請分	3月申請分	4月申請分	5月申請分	6月申請分	7月申請分	8月申請分
	← 今回(8月に)送付します「CPD取得一覧表」 →																			
	← 次回(11月に)送付します「CPD取得一覧表」(確定版) →																			

③Web 画面で研鑽記録を自己申請される場合、あるいは審査結果を確認する場合は、事前に「Web 利用登録」が必要です。Web 利用登録は次の URL から手続きをお願いします。

**Web 利用登録** ⇒ [http://www.jsidre.or.jp/cpd\\_web/](http://www.jsidre.or.jp/cpd_web/)

なお、Web 利用登録後、Web システムを利用できるまでには「中 1 日」を要します。平成 28 年 8 月 31 日までに Web 申請をするためには、平成 28 年 8 月 29 日(月)までに Web 利用登録の手続きを完了される必要がございますので、十分ご注意ください。

## 個人が申請された研鑽記録のうち 「認定不可」または「査定」された研鑽記録

CPD 個人登録者様からご申請いただきました CPD 研鑽記録は、技術者継続教育機構が定める「認定基準」に照らして認定可否の判断をいたしました。

なお、以下のような研鑽記録は「認定不可」あるいは「査定」をいたしましたので、ご了承の上、CPD 申請くださいますようお願い申し上げます。

### ○「認定不可」になった場合の判定根拠

- ① 申請内容から「日常業務」や「業務の一環」と判断した場合
- ② 「～会議」や「～業務検討会」等、活動名称から業務遂行上の活動と判断した場合
- ③ ボランティア活動など、直接技術力向上に結びつかない活動であると判断した場合
- ④ 具体性に欠けた内容で申請され、技術力が明確に向上したと判断できない場合
- ⑤ 申請期間を過ぎた過去の記録を申請された場合
- ⑥ 論文発表の場合、「証拠書類」から技術的論文であるとは言えないと判断された場合
- ⑦ 研鑽した事実、あるいは合格を証明するための「証拠書類」に不備があった場合
- ⑧ 資格の「合格」ではなく、資格の「登録」や「更新」と判断した場合

### ○「査定」になった場合の判定根拠

- ① 1 日の学習時間が 7 時間を超える場合 **⇒7 時間以内に査定**
- ② 研修会プログラムの中に「挨拶」「休憩」「移動」「試験」「アンケート記入」等が含まれていると判断した場合 **⇒研修した時間のみ**に査定
- ③ 展示会場などの展示ブースでの説明を「講師」として申請した場合 **⇒同一説明の繰り返しと判断し 0.5 時間**に査定
- ④ 業務ごとや日時、場所を変えて類似した内容を繰り返し行っていると判断した場合 **⇒同一内容の繰り返しと判断し最初の 1 回のみ**を認定
- ⑤ 論文発表をされた記録で、共著者が複数人の場合 **⇒全体の取得 cpd 値を著者人数で按分した cpd 値**に査定
- ⑥ 「講義資料を作成した」と「作成した資料で講義をした」など、一連の研鑽記録であると判断した場合 **⇒どちらか一方を認定し、一方を認定不可**

## ○研鑽記録ご申請の際には「こんなところに気を付けて」

### 1) 複数の研鑽記録はまとめて、1記録ずつ申請して下さい。

当機構では研鑽記録毎に審査をしていますので、お手数ですが、1記録ごとに申請をお願いいたします。

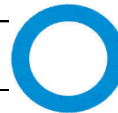
#### <間違った申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称
1	2014-04-01 2015-03-31	ad	A研修会受講(4月)、B講習会に参加(8月)、Cセミナーに出席(10月)



#### <正しい申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称
1	2014-04-15 2014-04-15	ad	A研修会を受講した。
2	2014-08-01 2014-08-01	d	B講習会に参加した。
3	2014-10-21 2014-10-21	ad	Cセミナーに出席した。



### 2) 業務の一環と読み取れる研鑽記録は認定できません。

#### <間違った申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称	成果内容
1	2014-10-10 2014-10-10	e	工事着手会議	工事着手にあたり発注者と検討をした



### 3) 研鑽内容に「講師」の記述が無いと、講師としての認定はできません。

#### <間違った申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称	成果内容
1	2014-09-12 2014-09-12	q	職場内研修	CAD製図基準について



#### <正しい申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称	成果内容
1	2014-09-12 2014-09-12	q	職場内研修の講師	CAD製図基準について職場内研修を実施し講義を行った。



### 4) 研鑽した内容が具体的では無いものは認定できません。

#### <間違った申請例>

記録番号	開始年月日 終了年月日	教育形態	行事や活動の名称	成果内容
1	2014-04-01 2015-03-31	x	自己研鑽	自己学習をした



## ○Web 申請時の「行事や活動の名称」欄の記述例と「証拠書類」

以下に教育形態区分別での「行事や活動の名称」欄の記述例、および研鑽記録の証明に必要な**証拠書類**を列記しますので、ご参考の上、Web 申請くださいますようお願いいたします。

なお、詳細は技術者継続教育機構のホームページ (<http://www.jsidre.or.jp/cpd/>) に掲載しています**制度ガイドブック：個人登録用** および **CPD Q&A** をご確認ください。

教育形態区分	教育形態区分の説明	「行事や活動の名称」記述例	必要な <b>証拠書類</b>
d	認定のない研修会・講習会・研究会・シンポジウム等への参加	外部団体が主催した○○研修会に参加した。	なし
ad	建設系CPD協議会の検索システム掲載のプログラムへの参加	建設系 CPD 協議会の検索画面に掲載の○○研修会を受講した。 <b>証拠書類</b>	主催者が受講を証明する「受講証明書」
e	プログラムに基づいた職場内研修	職場で主催した○○研修会に参加した。	なし
f	研修プログラムに基づいた社内研修 (OJT)	職場で主催した○○研修会に参加し、○○の実習・実技を受けた。	なし (実習実技が伴わない場合は【e】となります)
g	国際学会での口頭発表	○○発表会で○分間の口頭発表を行った。(ただし発表時間が 20 分以内の場合のみ該当) <b>証拠書類</b>	講演日と講演時間、および講演タイトルが確認できる「講演要旨集の目次等のコピー」
h	国内の学会での口頭発表		
i	国内の学術的な活動をしている団体・協会等での口頭発表		
j	その他での口頭発表		
k	国際学会での論文発表	○○誌で論文名「○○」(○ページ)を発表した。 <b>証拠書類</b>	論文掲載誌の発刊日が確認できる「学術雑誌の目次等のコピー」と「掲載された論文のコピー」
l	学術雑誌(査読付き)への論文発表		
m	その他論文発表		
n	技術図書の執筆	書籍:○○において第○章(○ページ)を執筆した。 <b>証拠書類</b>	発刊日が確認できる「技術図書の目次等のコピー」と「執筆部分のコピー」
p	認定のない研修等の講師	外部団体が主催した○○研修会で講師をした。(ただし 30 分以上が該当)	なし (ただし「講師をした」との記載が必要)
q	職場内研修の講師	職場で主催した○○研修会で講師をした。(ただし 30 分以上が該当)	なし (ただし「講師をした」との記載が必要)
r	成果を上げた業務等 (優良工事の表彰)	○○業務が○○から優良工事として表彰を受けた。 <b>証拠書類</b>	表彰年月日が記載された「表彰状のコピー」と「配置技術者であることを証明するコピー」
s	特許取得	○○の特許を取得した。 <b>証拠書類</b>	「特許証のコピー」
t	技術検討委員会等の出席	○○委員会に○○の立場で出席をした。 <b>証拠書類</b>	出席の立場が確認できる「議事次第等のコピー」
u	技術検討委員会等への出席 (議長や委員長の場合)		

教育形態区分	教育形態区分の説明	「行事や活動の名称」記述例	必要な <b>証拠書類</b>
V	論文・技術図書等の査読	外部からの査読依頼に基づき、〇〇を査読した。 <b>証拠書類</b>	外部団体から個人に宛てた「査読依頼のコピー」
W	大学、研究機関（企業を含む）における研究開発・技術業務への参加、国際機関への協力等	〇〇に協力して〇〇の研究開発に参画した。 <b>証拠書類</b>	共同研究の機関名、研究テーマ、本人の関わりが確認できる「関係資料コピー」
X	自己学習	〇〇を読んで〇〇を学習した。 〇〇資格取得に向けて学習をした。	なし（ただし研鑽内容が不明瞭な場合は非認定）
Y	資格取得（博士号含む）	〇〇に合格し資格を取得した。 <b>証拠書類</b>	合格年月日が記載された「合格証のコピー」
Z	賞の受賞	〇〇より、研究テーマ〇〇が〇〇賞を受賞した。 <b>証拠書類</b>	表彰年月日が記載された「表彰状のコピー」

## ○事務局からのお知らせ

### ～農業農村工学会員のCPD特典～

（公社）農業農村工学会員でもある CPD 個人登録者については以下の特典がございます。

- ① 「水土の知」での自己学習分として年間10cpdを【x】に**自動登録**します。
- ② 「水土の知」誌上で毎月出題される「通信教育問題（4択）」に解答ができ、正解数によって**年間最大24cpdまで**在宅のまま取得が可能です。
- ③ 毎年6月1日時点で農業農村工学会員である CPD 個人登録者の CPD 年間利用料を**1,500円割引**します。

### 平成28年度農業農村工学会大会講演会の開催について

平成28年度農業農村工学会大会講演会を下記日程で開催いたします。  
本講演会は技術者継続教育機構の認定プログラムであり、参加された CPD 個人登録者は1時間＝1cpdの取得で、**4日間で約15cpd**の取得が可能です。

（ただし参加される時間数により取得cpdは変動します）

日 程：平成28年8月30日（火）～9月2日（金）（9月2日は現地研修）  
場 所：仙台市青葉区（江陽グランドホテル・ホテル法華クラブ仙台・ハーネル仙台）  
参加費：8,000円（ただし7/31までの事前登録の場合6,000円）

\*参加申込みは農業農村工学会ホームページからお願いいたします

また8/31～9/1に仙台商工会議所に於いて「一般市民向け展示会」を開催（入場無料・1cpd）

問い合わせ先：〒105-0004 港区新橋5-34-4 農業土木会館3階

公益社団法人農業農村工学会 技術者継続教育機構(略称、CPDORDE)

継続教育部

TEL: 03-5777-2098  
http://www.jsidre.or.jp/cpd/

FAX:03-5777-2099  
E-mail: hanatsuka@jsidre.or.jp